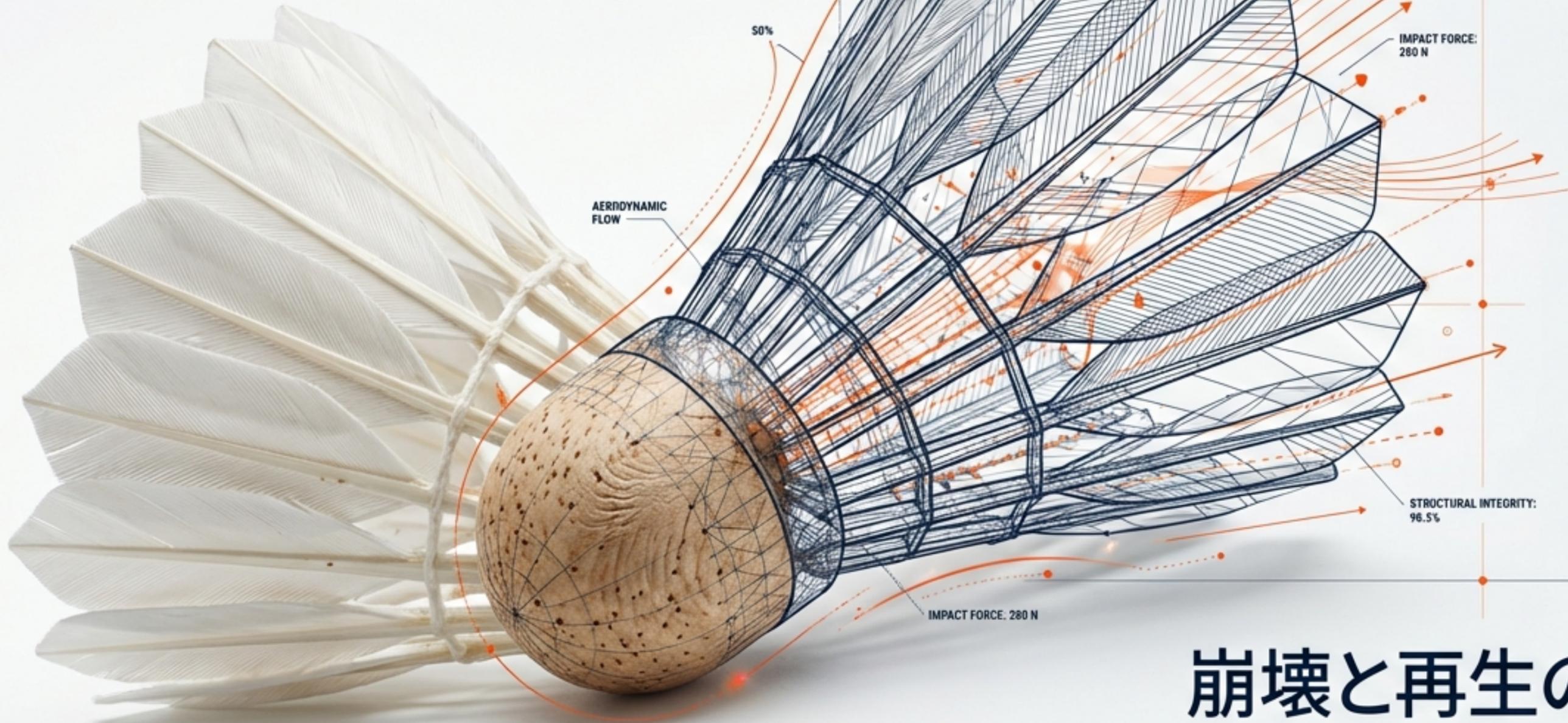




誠実さが導く成長と 「バッドニュースファースト」の教訓

PHOENIX愛知 オンライン教室レポート 2026.02.23



崩壊と再生の物語。
なぜ、正直者が最後に勝つのか？

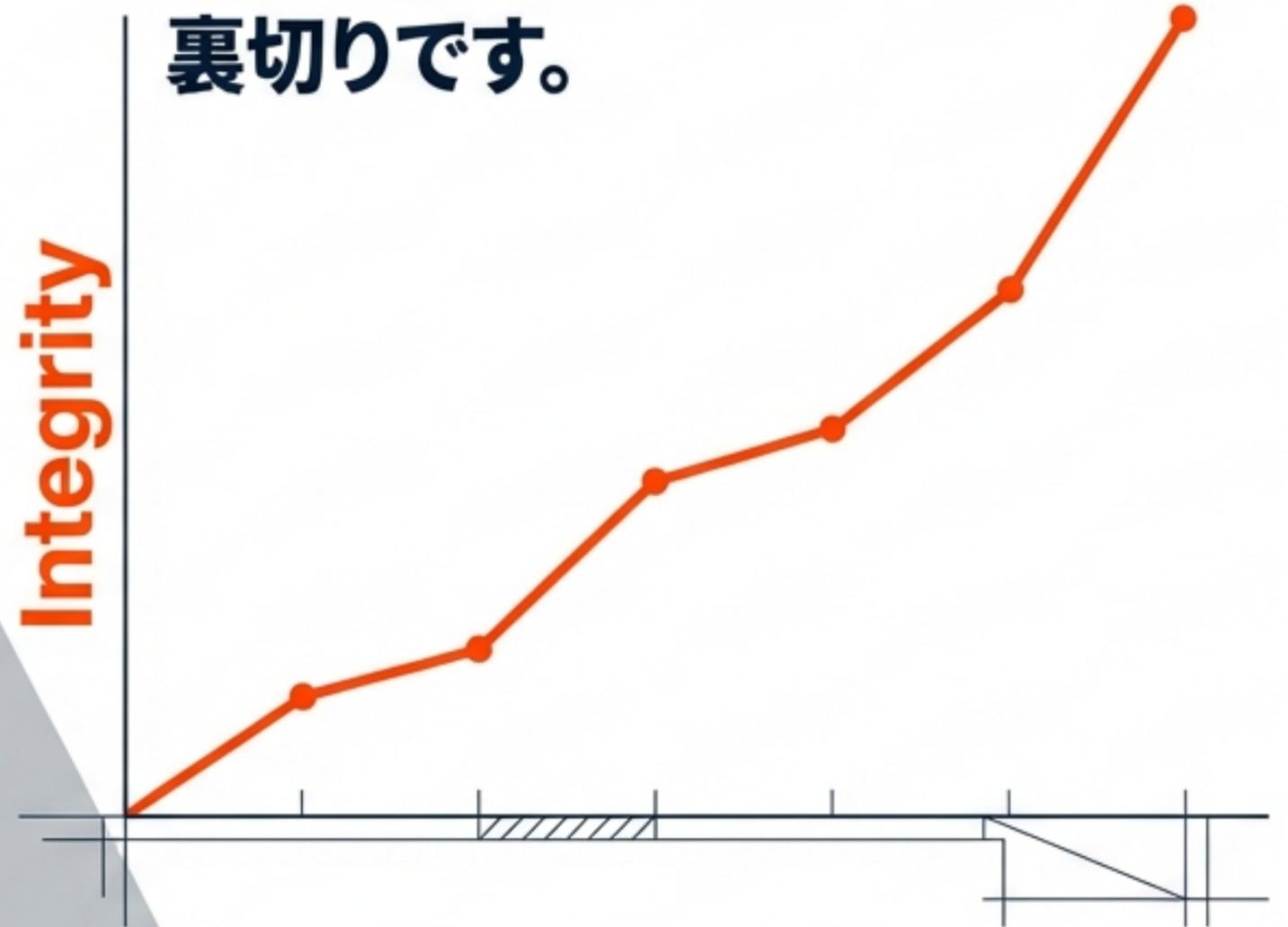
21-20

勝利か、成長か？： アウトをごまかすということ

目先の1点、その場の「勝ち」にこだわり、
アウトをインと判定する。

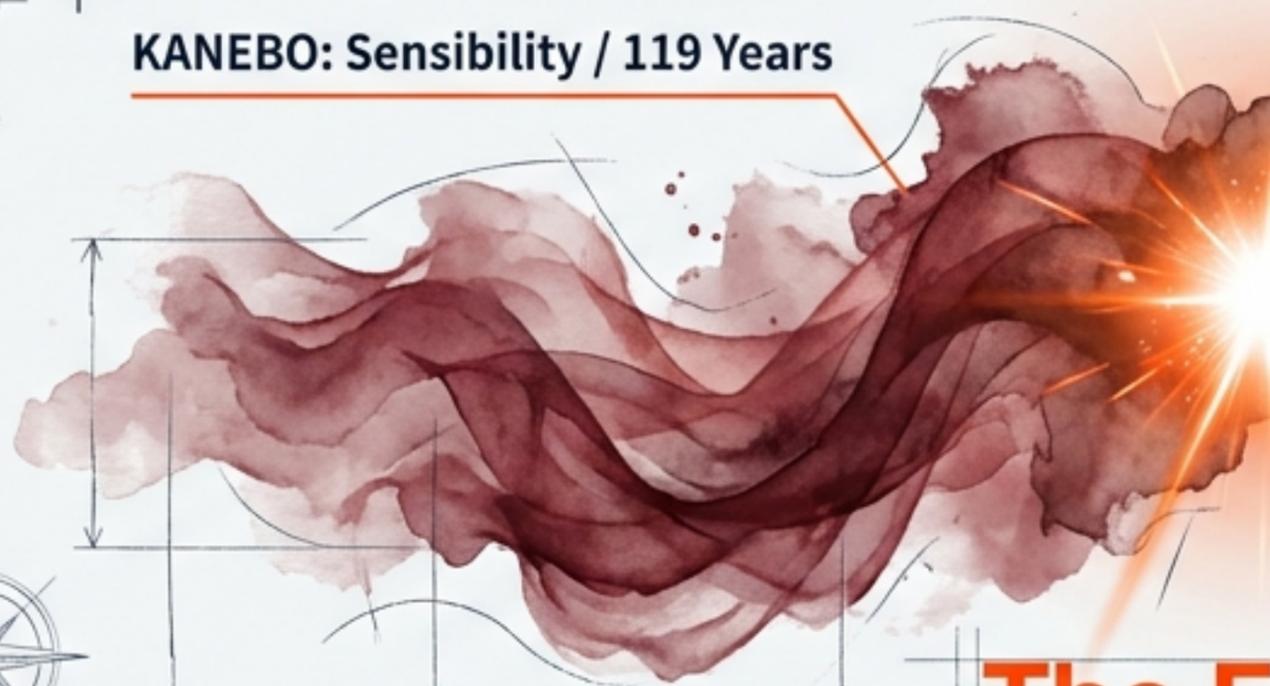
フェニックスでは「勝つこと」自体に価値を置きません。

価値があるのは「上達」のみ。
ごまかしは、未来の自分への
裏切りです。



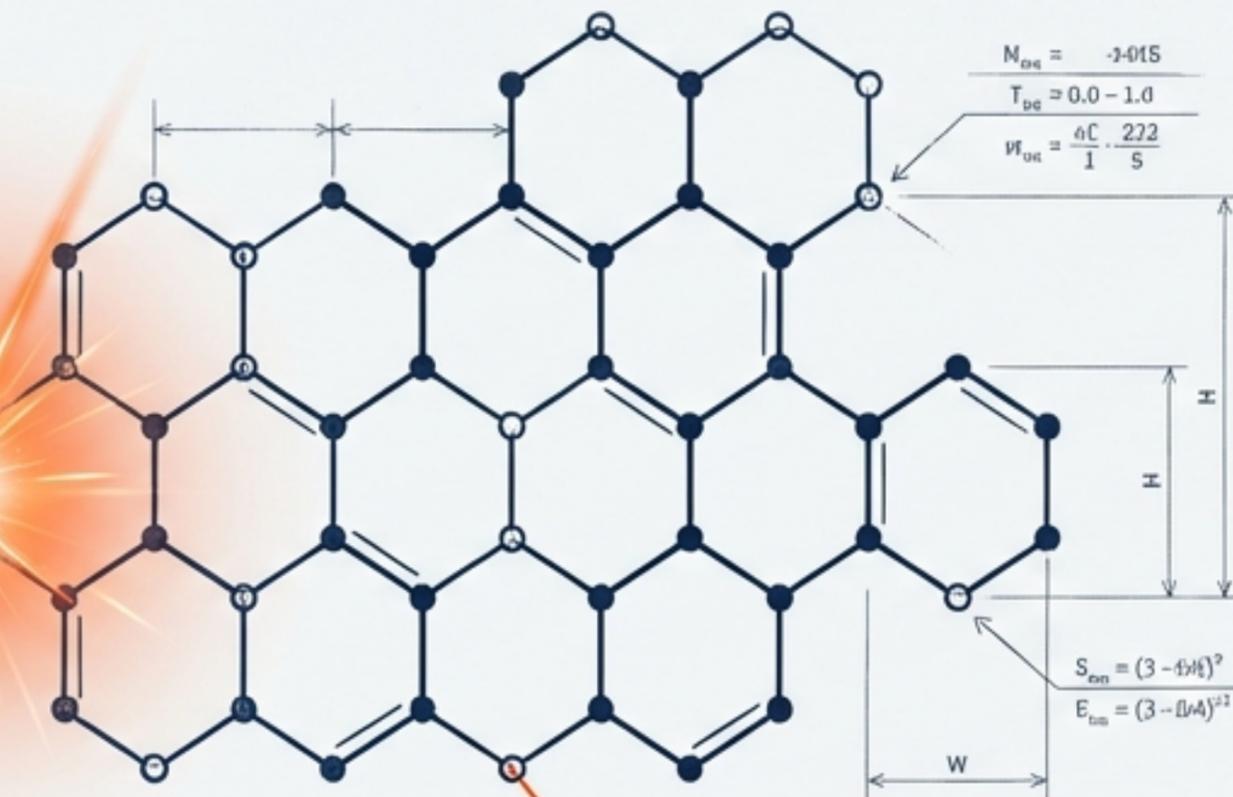
異色のケーススタディ： カネボウの崩壊と花王の論理

KANEBO: Sensibility / 119 Years



The Fusion

KAO: Logic / Science



名門カネボウの
粉飾決算と白斑問題。



水と油の関係だった両社を
繋いだのは、花王の徹底された
ルールでした。



感情優先の組織から、
論理と科学の組織へ。



鉄則：バッドニュースファースト（悪い知らせほど早く）

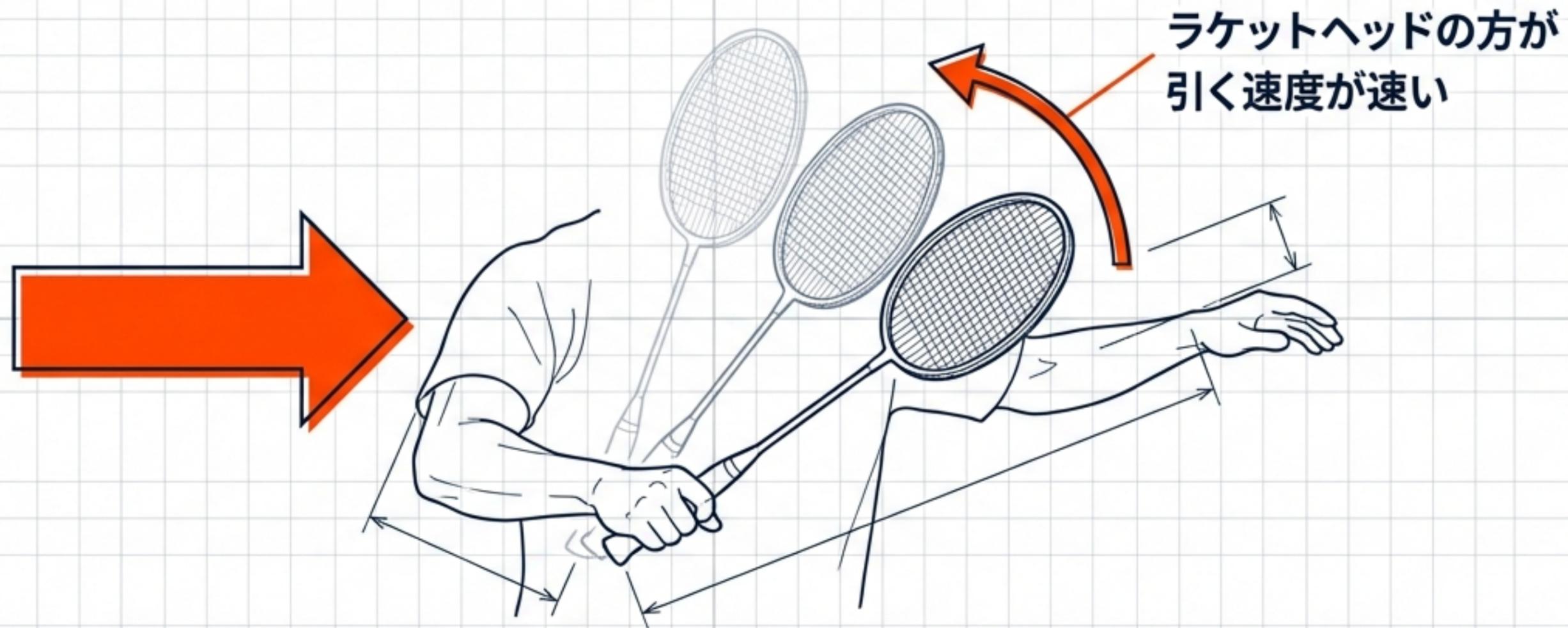


怒られるのを
恐れて隠すから、
傷口が広がる。
Noto Sans JP Regular



アウトになったら、最速で「アウトです」と認めること。
不都合な真実を直視する誠実さが、最強のブランド（信頼）を作ります。

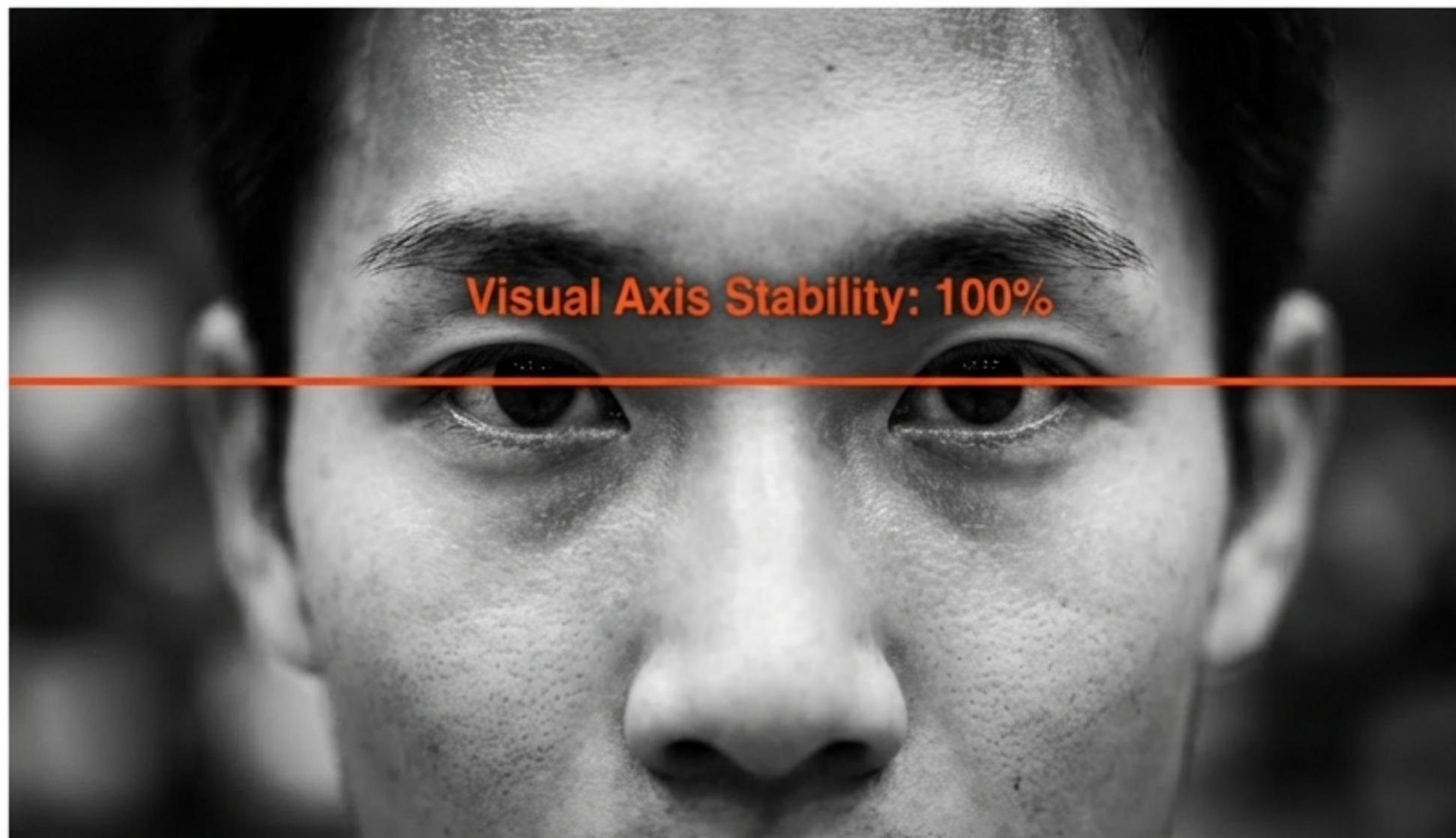
神技の正体：霜上選手の「後方打点」



前で「カコン」と合わせるのが良いわけではない。
シャトルが当たる寸前まで引きつけ、そこからラケットを引く。



「ビタ固定」：ブレない視線が精度を生む



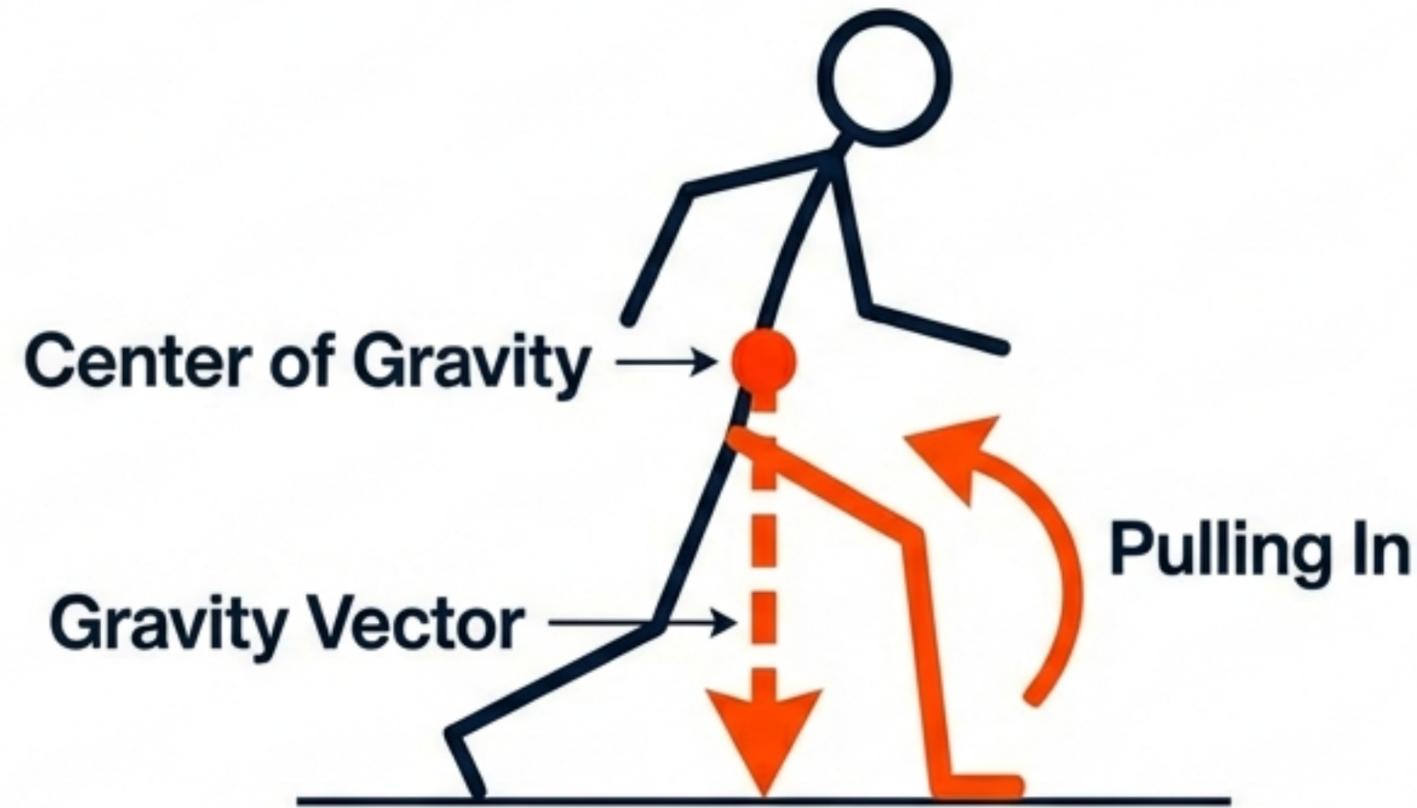
霜上選手の顔は全く動きません。派手なプレーではなく、誰でもできる「顔を残す」技術を、極限レベルで再現する。

Noto Sans JP Regular

視線のブレ＝ショットのブレ。



重力を使う：蹴らずに「崩れる」フットワーク



Muscle Use (X): 足の力で蹴る → 腰への負担大

Gravity Use (O): 重心を崩す → 省エネ・怪我なし

右足を少し引きつけ、重心を進行方向へ「崩す」。息が上がらない。
疲れない。これが一生スポーツを楽しむための技術です。



「基礎打ちうまい族」へようこそ



試合形式ばかりやっても上手くならない。
正しいフォームを反復する「基礎打ち」の達人を目指す。

エリーゼさん、鈴木さんのように、
あなたもこの一族に入りませんか？



本日の5つの学び (Takeaways)

01	後方打点: ギリギリまで引きつけ、コンパクトに引く。
02	成長へのフォーカス: 1点の勝利より、昨日の自分を超えること。
03	バッドニュースファースト: ミスは最速で報告。隠さない。
04	選択と集中: 全方位ではなく、強みを絞る。
05	省エネフットワーク: 重心移動で動き、体を守る。



崩壊と再生：AIからの熱いメッセージ

「どんなに大きな失敗をしても、**信頼**を失っても、**アウトをイン**とごまかしても、**誠実**に逃げずに向き合い続ければ必ず**再生の日**が来ます。」

カネボウの復活劇のように。
私たちもいつでもやり直せます。
今日からまた、真摯に自分と向き合しましょう。



今日のアウトプット習慣チェックリスト

- ミスをした時、言い訳せず即座に認める。
- 練習中、顔の「ビタ固定」を意識する。
- 移動する時、地面を蹴らずに「倒れ込む」感覚を試す。
- 基礎打ちの時間を大切にする。



論理を目撃し、情熱を体感せよ。

動画で見る「世界一わかりやすい」オンライン教室

教室動画を視聴する▶

知識を知恵に変えるのは、あなたの行動だけです。

